

表3

観 点	正答率 有効度指数		有効度 指 数
	事前テスト 正答率(%)	事後テスト 正答率(%)	
類 義 語	30.7	82.5	74.7
反 義 語	35.0	81.0	68.9
短文構成	24.7	78.4	71.3
訓 読 み	2.5	95.0	94.9
総 合	30.2	78.8	70.0

イ 単元の目標
情景や気持ちを想像しながら、物語のおもしろさを味わわせる。

ア 単元名「注文の多い料理店」(五年) — 宮沢賢治作 —

① 検証・考察
実験授業

② 国語辞典、漢字辞典の活用を力を入れ指導した。

③ 語彙指導の手順を身につけさせ、主体的に学習できるように訓練した。

ウ 指導計画(省略)

エ 中心語句 つう快・まごつく・なんぎする・よりそう・見くびる・手問どる・切り上げる・損害・承知

オ 本時の目標
一つ一つの語句の意味を、語彙の網の中で正しくとらえさせる。
。 語句の意味を辞書で調べノートにまとめることができる。
。 類義語、反義語を調べ、ノートにまとめることができる。
。 辞書の用例に類義語をあてはめてみて、その意味の異同がわかる。
。 中心語句を使用して短文を構成することができる。

カ 指導過程(資料2)

② 実験授業の結果と考察
以上のような実験授業終了後、事前テストと同一の問題で事後テストを実施した。その結果は表3のとおりである。(一つの語句の変容については省略)

③ 「つう快」を中心語句とする語彙指導の例

T 前の時間に文脈の中で考え、辞書を引いて調べた「つう快」の意味を復習してみよう。

P 非常にゆやかなことです。胸がすくように気持ちのよいことです。

T では、「つう快」と似た意味をもつ語句をあげてみましょう。

P 気持ちよい。ゆ快。心ちよい。快てき。楽しい。

T それでは、次の文の□の中に、

「つう快」のかわりに、これらの語句を入れてみましょう。
。 しかの横つばらに、二三発おみまいしたら、ずいぶん□だらうね。
P 「ゆ快」「気持ちよい」「楽しい」はありますが「心ちよい」と「快てき」はあわないと思います。
T それでは、「久しぶりに雨が上がり、□天気になった」の□の中に類義語を入れてみましょう。
P 気持ちよい天気、心ちよい天気、快てきな天気とは言いますが、ゆ快な天気とかつう快な天気、楽しい天気とは言いません。
T そうすると、「ゆ快」とか「つう快」には「楽しい」という要素が入っている点で、「気持ちよい」とか「快てき」と区別することができるですね。 — 以下省略 —

(3) 結論(仮説について)
変容調査の結果及びその分析・考察から「中心語句を語彙の網の目の中でとらえさせれば、語句の意味を正しく把握させることができる」という本仮説は妥当であったと思う。

四 反省と今後の問題点

- (1) 中心語句は、発展性、系統性のある語句を選ぶことが必要である。同時に、学年の系統性も考慮しなければならぬ。
- (2) 今回の実践は、特設した時間の中で指導であったが、文脈の中で語彙指導が大切である。

資料2 指導過程

学 習 活 動	学 習 内 容	板 書
<p>1. 「しかの黄色な横つばらなんぞに、二三発おみまいもうしたら、ずいぶんつう快だらうね。」</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「つう快」の意味について復習する。 (2) 「つう快」の類義語と反義語を調べる。 (3) 「快」の訓読みを調べる。 (4) 「つう快」の用例をいくつかとりあげ、「つう快」のかわりに、それぞれの類義語を入れてその異同について考える。 (5) 「つう快」を使って短文をつくる。 	<p>○短文</p> <p>○「つう快」の用例</p> <p>入れかえ</p>	<p>○類縁語</p> <p>こころよい</p> <p>ゆ快</p> <p>気持ちよい</p> <p>快い</p> <p>おもしろい</p> <p>こころよい</p> <p>気持ちよい</p> <p>○たいそうゆ快なこと</p> <p>○心からはればれた気持ちになること</p>